

抄録：

手術用手袋の破損のリスクと課題

著者：Dietmar Rabussay; Denise M.; Korniewicz (RN)

背景

外科手術中手袋の破損は頻繁に発生し、その発生率は手術時間に応じて高まる。この論文では、手術用手袋の使用方法に関連する汚染リスク、および感染制御のためのベストプラクティスと推奨事項について説明する。

概要

医療現場には、医療従事者と患者の両者にとってウイルス感染と細菌感染における重大なリスクがある。米国では毎年約 18,000 人の医療従事者が HBV に感染している。HIV に感染する医療従事者は毎年大幅に減少しているが、感染者の数は依然として非常に多く、一般人の感染者は未だに増加し続けている。HCV は既知の治療法がなく、米国のみで 400 万人の保菌者がいるため、最も脅威があるとみなされている。医療関連感染はその大部分が手術によるものであり、これは患者にとって大きなリスクである。微生物感染が起こる可能性は、保菌者の数、保菌者中の病原体の濃度、感染経路、そして手袋やその他の個人保護具 (PPE) の防護効果によって異なる。

結果

ほとんどの手術において、鋭利物損傷は手袋の破損の 2% に過ぎない。手術部位感染 (SSI) が手袋の破損に起因する可能性があることを示す証拠がある。ある例では、同じ心臓血管外科医によって手術を受けた 222 症例のうち少なくとも 5 例の患者が HCV に感染していた。別の報告では、144 症例のうち 19 例の患者が一人の外科助手から HBV に感染していた。

結論

鋭利物損傷の結果として手袋が破損した場合、HBV および HCV に感染する重大な職業上のリスクが生じる。また、手術部位の微生物汚染が起こることも示された。医療従事者と患者間の微生物感染に対する最善の予防策は、高品質の手袋、手袋の二重装着、バリアの完全性のモニタリング、および損傷防止の実践を通じて、手の防護を強化することである。

参考文献 1. Rabussay et al., The Risks and Challenges of Surgical Glove Failure *AORN J* 1997;66:867-888.

この抄録は Ansell Healthcare LLC によって執筆され、提供されています。Ansell Healthcare は、発表された研究をできる限り正確に要約する努力を払っていますが、要約の正確さについての表明は行いません。追加情報については、実際の調査結果を参照してください。